

西小だより

学校 Web サイト URL <http://nishiurawa-e.saitama-city.ed.jp/>

～ よく学び 笑顔いっぱい 一人ひとりが輝く教育の推進 ～

《 学 校 教 育 目 標 》

一夢がわき 心もはずむ 西小の子一

・素直で心豊かな子

・進んでくり返し学習する子

・ねばり強くたくましい子

家族や地域とともに過ごす、最高の39日間を…

校 長 竹谷 浩一



夏休みの思い出といえば、やっぱり学校のプールや市民プール・虫とり・花火・キャンプ・ラジオ体操・盆踊り(夏まつり)・帰省・家族旅行・残り1週間で宿題ラストスパート!でしょうか。この時季になると保護者や地域の皆さんの中には、「あの時代はよかったなあ」と幼少期の頃を心の中で思い返したり口に出したりして懐かしむ方もいるのではないのでしょうか。ここ数年、夏の猛暑の影響で夏まつり等の各種イベントが規模や時間を縮小したり中止にしたりするといった声が周辺の地域から聞こえてくるようになりました。この先どうなってしまうのか不安でなりません。

夏休み前の生活指導の場面で、「安全に気を付けて、規則正しく、普段ではできないことをたくさん経験してください」と子どもたちに伝えます。

さて、ここで言う『普段ではできないこと』とは、一体どんなことを指すのでしょうか。私や生徒指導主任、担任から次のようなことを終業式で話そうと思います。

安 自分の命は自分で守る (事故、自然災害、不審者等による犯罪の回避 等)

規 時間を守る (起床・就寝、食事、外出、ゲームやSNS利用時の約束 等)

普 地域と交流する (あいさつ、ラジオ体操、夏まつり、盆踊り 等)

普 情報端末を積極的に活用する (予習・復習、読書、調べ学習、記録 等)

普 家族や親戚と過ごす (団らん、食事、手伝い、買い物、旅行、帰省 等)



今年の夏休みも、子どもたちがタブレット端末を家庭に持ち帰り、課題解決のための調べ作業や記録・まとめ等の場面でどんどん活用してもらいたいと考えています。選択肢を広げることで、学びが深まることを期待しています。対象学年や利用時の注意事項等は各便り等でお知らせします。

保護者や地域の皆さんにお願いがあります。お忙しいのは十分承知の上です。どうか子どもたちが家族の一員として、また地域の構成員として所属意識(自己存在感、自己肯定感、自己有用感)が高まる機会を与えてあげてください。今年と同じ夏休みは二度と来ません。身近な場所で十分です。これまではなかった雰囲気が味わえるイベントやサプライズ企画を用意するなど、お力添えをお願いします。社会(地域)や家庭環境の移り変わりとともに変化する子どもたちの夏休み。ひと昔前と暑さの質が変わったからと、家から一步も出ないで1日中ゲーム三昧の日々というのは考えものです。安全最優先ではありますが、スリルを味わうのも大切な経験です。

39日間をどう過ごすか…。2学期以降も充実した学校生活を送るためにも心も体も満たされた気持ちで、8月26日(水)の始業式を迎えてほしいものです。

校長のつぶやき

小学校低学年の夏休み、私は家族で千葉県海へお泊り旅行に出掛けました。宿に着き、夕食の時間まで海沿いの小路を散歩していた時のことです。しばらく歩いていると、海中に続くコンクリートの坂道と陸に引き上げられた漁船が並ぶ小さな漁村に着きました。その坂道にふと目をやると、無数のカニが…。興奮した私は、親の静止を振り切って一目散にその坂道目がけて走り出しました。その直後、海藻が生えてつるつるになった坂道でスライディングして転倒。それから氷上を滑るかのようにゆっくりと足から海中へ…。下半身だけが海水に浸かった様子は、その場に居合わせた家族にとって、思わず笑ってしまうハプニング映像だったと思います。更に大きな代償が…。左脚すね部を豪快に擦りむき、海水が傷にしみて大泣き。楽しみにしていた宿でのお風呂と翌日の海水浴は私だけキャンセルになりました。この歳になっても、どういう訳か忘れることのないエピソードです。楽しくも痛かった遠い記憶を一人思い出し、微笑みながらつぶやきを作っています。(でもあの時は笑えないくらいの激痛でした…)